



やまぶき

創刊72号
春号
グローバルライフ
生石
敬愛・実践・信頼

『挨拶』

やまぶきは、春に咲く可憐な花です。花言葉は、「崇高」、気品が高いです。私達は入居された方々のライフバシーや尊厳を大切に生活をサポートしていきます。やまぶきを通じて皆様の活々とした暮らし、山吹色に輝く笑顔をお伝えします。



「やまぶきの花」
グローバルライフ生石にて

ご紹介いたします。
目覚めたり 孫の幻声 春早朝(春の朝早く孫の声が聞こえたと思いつつ目が覚めた) コーヒーにおもたき 春深し(コーヒーを手にしても重たい瞼に春を感じて) コロナ禍をハウス生石に守られて(日々の生活に感謝の意を込めて) 今までにお願いし書いていただいた入居者の作品です。人生の深さを感じます。 コロナ禍で四度目の春となり。満開の花の報で、お花見ドライブへようやく行きました。蕾から満開へと至り散り行く桜の儂さを眼前にしました。もしもを考え、皆さん少人数に分かれ、マスクをしてのドライブとなりました。「九五でも桜が見られた。来年も見られるといいなあ」の声に職員も「また来ましょうね」と応えマスクの下で笑顔となりました。
さて令和五年四月一日の家族懇談会は、新型コロナウイルス対応の為に中止とさせていただきます。入居者ご家族の皆様は、会社と施設の状態についてご報告し、施設運営についての意見交換を行わず残念でなりません。代わりに昨年の活動報告と今年の計画を画面でお送りし、ご意見は画面でいただきました。加えて食事を提供する二味様より、世界的な食料費・燃料費・輸送費等の高騰を受けての食費改定の申し出がありました。他施設の動向などを踏まえ、慎重に検討した結果、食費の改定実施をさせていただきます。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。
またご家族の皆様との面会制限等の協力を得て、令和四年冬から五年春まで新型コロナウイルス八波において、ご入居者の感染はありませんでした。むろんインフルエンザ、ノロウイルス等の患者もおられません。コロナ禍は下火になりましたが終わってはいません。戦いは続いています。努力を続け、新型コロナウイルスを封じ込めてゆく所存です。本年度、当社は七月より仕事をするための環境を充実することで、職員の定着化と職員の資質の向上をはかり、皆様に提供する介護サービスのより一層の高みを目指してまいります。私どもは入居者様のご家族様と職員とで共有しながら、共に悩み、解決していくことを希望いたします。
グローバルライフ生石は、ご家族様と心を寄せ合い「みなさんの『気づきの心』で、ご入居者の皆様を支えていける」、そんな施設づくりを今後とも目指してまいります。
『入居者が主人公、徹底して介護をさせていただきます』これがすべてであります。

介護付有料老人ホーム グローバルライフ生石
施設長 平野修一

ご利用下さい

日用品の注文

(火・金曜日)
《重石百貨店》
身の回りの日用品を配達していただけます

訪問理美容

《ビューティフルライフ・
リンデンBI》
カット・カラーなど施設内で(要予約)

コープおおいだ

(毎週月曜日14時半頃)
1階 玄関前にて販売

めがね・補聴器

(月1回)
《ヤノメガネ》
メガネや補聴器の購入から修理等

特別食

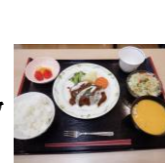


<2月 メニュー>

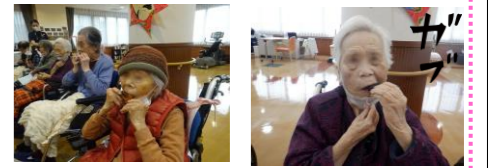
ごはん、お吸い物
お造り(カボスぶり、生サーモン)
天ぷら盛り合わせ
・海老、南瓜、茄子、さつまいも、いんげん
茶碗蒸し
リンゴ



<3月 メニュー>
ごはん
キャロットポタージュ
和牛の手作りハンバーグ
春キャベツのサラダ
フルーツ盛り合わせ



干し柿作り



昨年末に仕込んだ干し柿を収穫。海からの寒風にさらされてしっかり出来上がりました。また今年も作りたいね♪と話が弾みました。

～編集後記～

春の訪れが待ち遠しいほど、寒さの厳しかった今年の冬。桜のつぼみが膨らんできた頃には、気がつくや木や花もいつの間にか新芽をつけ、春が来たことを知っているようでした。「寒い、寒い」と口に出している人間とは違い、新しい季節、一番輝くときに向けて静かに準備をしている正直さに改めて強さを感じました。寒さが緩んだこと、第8波が下火に向かっていることで、何となく心もほぐれ何気ないことに目を向けられる余裕が生まれてきたのかもしれない。紙面でも紹介しましたが、今年も大分市内の名所を巡るお花見に行ってきました。数日の間にどんどん表情を変える桜。「桜は咲いてから散るまで、全部美しいね」と強い春風にははらはらと舞う姿を見ながらご入居者様が暖かい言葉がとても印象に残りました。来年こそは青空の下でぐーっと身体を伸ばし、皆さんで桜を見上げたいです。終わりが見えなかったコロナ禍ですが、5月8日から感染症法上の位置付けが、5類に移行することに伴い、3月よりマスクの着用が個人の判断に委ねられるなど大きな転換期を迎えようとしています。5類に移行することで、施設での生活はどのように変わっていくのか、継続すべきことは何なのか、まだそんなことやっているとされるかもしれませんが、ご入居者様の大切な命をお預かりしている以上、一度あの大変さを味わうと慎重にならざるを得ないのが現状です。とは言え、いつまでもこのままではいけないことも十分に分かっています。私たちも同じですが、高齢のご入居者様にとって様々な制限を強いてきたこの数年がもたらす心身機能への影響は計り知れません。誰が悪い訳でも、なにが悪いだけでもありませんが、希望と現実の狭間でモヤモヤする今日この頃です。新たな局面を迎える今だからこそ、ご入居者様・ご家族様が安心して頂ける様、引き続き努めていきたいと思っております。今年度も宜しく願ひ致します。

生活相談員 小林優美

～お知らせ～

『グローバルライフ生石』では、入居者様および入居を検討される方に『入居契約書』『重要事項説明書』等をいつでも閲覧できるよう、1Fエントランスに備え付けており、またホームページ上にも公開しております。

介護付有料老人ホーム **生石**
グローバルライフ

お問合せ **097-548-5133**

一人ひとりで 大家族
大分市大字生石37番地の7
株式会社 **サンケアシステム**

<http://www.suncaresystem.jp>



ひなまつり



3月3日のひな祭りは今年もお内裏様とお雛様に扮して頂き、大きなひし餅と一緒に写真撮影を行いました。お昼にはちらし寿司や菜の花で春を感じて頂きました。

←雛段飾りのアイスクリームを♪

フォトフレーム フラワーデコ



フォトフレームを春の花でデコレーションした飾りを作りました。シンプルに仕上げる方、花をふんだんに使い華やかに仕上げる方など、春の様子を切り取ったような出来栄になりました。

喫茶の日



午後の時間をコーヒーとおやつと共にゆったりとお喋りしたり、本を読んだり、囲碁をしたり...思い思いに過ごされています。コーヒーの香りだけでも癒されます。

お花見



開花から肌寒い日が続く、のんびりしていたら、あれよあれよという間にば〜っと咲いたので、急いでお花見に行ってきました。今年も、少人数ずつ順番に、車の中から大分市内の桜の名所(城址公園、大分川の河口など)を巡りました。昨年とは違い、シートを敷いてにこやかに桜を見上げている方も多く、4年ぶりのお花見を楽しんでいる様子でした。

年明けも第八波にヒヤヒヤしながら、施設内で出来るレクリエーションを中心に行っていました。2月からは少しずつ参加人数や内容を緩和しています。withコロナとはいえ、神経を使う日々は変わりませんが、少しでも気分転換になって頂けるように取り組んでいます。

お正月と言えば...ということで、福笑い、書初め、すごろく、羽根つきに似たゲームなどを行いました。

新年の遊び あれこれ



福笑い
干支にちなんでウサギをモチーフに。

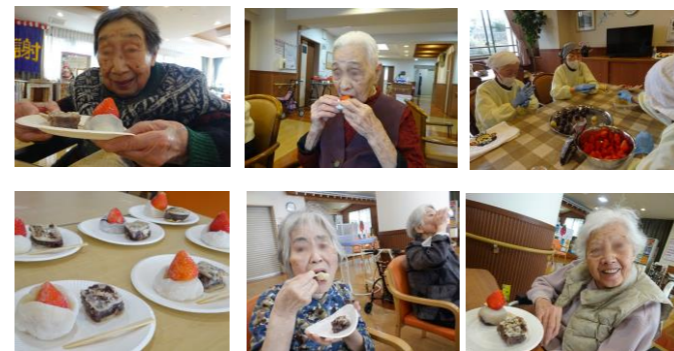
福 節分



2月3日は今年も皆さんで「鬼は外、福は内!」の掛け声と共に豆まきを行いました。邪気を払い、福を呼び込み、皆さんが健康で幸せに過ごせますようにと願いをこめました。おやつには赤鬼のケーキを食べ、おいしい鬼退治を行いました。

←世界最高記録 22本!!
＜恵方巻 積み上げゲーム＞
あれこれ積み上げ方を工夫しながら... そーっとそーっと慎重に。

おやつ作り



春らしい和菓子を作ろう! ということで、いちご大福ときんつばを。イチゴが乗っているだけで、かわいらしく、また美味しかったです。

パステル画



お雛祭りをモチーフにしたパステル画を行いました。「難しい〜」と初めは仰っていましたが、それぞれ愛嬌のあるかわいいお雛様が出来上がりました。